

首都圏新都市鉄道 TX-3000 系交直流車両



写真 1 外観

要旨

首都圏新都市鉄道株式会社(つくばエクスプレス)は、秋葉原～つくば間の 20 駅 1 都 3 県を結ぶ 58.3 km の都市高速鉄道で、2018 年度には 1 日平均約 38.6 万人のお客様にご利用いただいている。電気方式は、沿線の茨城県石岡市にある地磁気観測所に影響を与えないよう、守谷～みらい平間(秋葉原から 40.7 km 地点)に交直セクションを設け、秋葉原寄りを直流 1 500 V、つくば寄りを交流 20 000 V で電化している。

つくばエクスプレスの開業時は、TX-1000 系直流車両 14 編成及び TX-2000 系交直流車両 16 編成の計 30 編成を所有していたが、2005 年開業以降も沿線開発とともにお客様の数も順調に増え続けたため、混雑緩和及び輸送力増強を目的に TX-2000 系交直流車両を 2008・2012 年度に計 7 編成を増備した。その後も輸送量が増加していることから、更なる輸送力増強を目的に、開業から 15 年目を迎えた節目となる 2019 年度に新形車両 TX-3000 系交直流車両 5 編成を増備した